

行政調査報告

総務委員会

(◎小沢 国大、○河内 光、黒木 明、余語 智、安江 美代子、谷田 貝将典、加藤 晶子、小島 倫明、舟橋 秀和(欠席))

5月7日 北海道江別市

都市と農村の交流センター「えみくる」

目的・理由

本市の農業公園事業にあたり、食と農を通じて「都市部」と「農村部」の交流の活性化が図られているため。

視察項目概要

閉校する中学校の跡地利用にあたり、「都市と農村の交流」「農業者の健康と福祉の増進」を目的に設置された。料理教室等の食育事業、テストキッチンを活用した6次化推進事業、地域活性化イベントの開催等が実施されている。

意見・考察

本市の農業公園事業においては、子どもから大人まで幅広い層をターゲットとしているので、農業のみでなく、多面的機能も取り入れながらの計画も検討の余地がある。

5月8日 北海道札幌市

カスターマーハラスメント防止啓発の取組

(他 A-Iを活用した公共事業の最適化に関する研究)

目的・理由

昨今カスターマーハラスメントによる職員の負担が懸念される中、ポスター掲示や対策マニュアルの作成により全庁的に取り組まれているため。

視察項目概要

職員アンケートにより9割以上の職員がストレスを感じていたため、ポスター掲示、通話録音、報道機関への周知、対策マニュアルの作成を行った結果、該当事例が減少した。

意見・考察

本市においても、まずは現状把握をし、ポスター等の啓発が必要であろう。職員と市民等が理解し合える体制を作ること、住み心地のいい市になっていくことだろう。



福祉厚生委員会

(◎鈴木 裕士、○星熊 伸作(欠席)、伊藤 皇士郎、阿部 哲己、山田 美代子、諸岡 英実、石田 知早人、木村 哲也)

5月9日 熊本県上天草市

A-Iを活用した特定健診の受診勧奨

(他 上天草市交流センタースパ・タラソ天草)

目的・理由

本市の特定健診は国が求める受診率に達していない状況である中、A-Iを用いて先進的に取り組んでいるため。

視察項目概要

A-Iによる対象者選定システムを導入し、通知ハガキをパーソナライズして送付した。3年間で約3ポイントの受診率向上となったが、市民の慣れにより効果減少が課題となった。

意見・考察

勧奨の効果を高めるためにA-Iを活用することは有効である可能性がある一方、高額な委託費がかさむことは懸念事項である。

5月10日 熊本県熊本市

熊本市民病院経営強化プラン

目的・理由

自治体病院は公的医療機関として多くの不採算医療を担い社会的使命を果たしているが、震災からの建て直しも実現する中での取組を参考とするため。

視察項目概要

プラン策定により看護師確保、デジタル問診票、時間外勤務削減、救急診療拡充等で効果が表れた。

意見・考察

本市も、持続可能な経営の安定を図つつ、良質な医療提供を継続するため、熊本市民病院の取組を参考とし、計画期間の中で、進捗について確認しあっていたことを期待する。



文教建設委員会

(○小川 真由美、○佐藤 悟、永井 孝典、猪飼 健治、大上 利幸、
佐藤 早苗、長田 淳(欠席)、河内 伸一)

4月24日

青森県弘前市

小中一貫教育

目的・理由

小中一貫教育に関しての先進事例があり、知見を学ぶため。

視察項目概要

9年間を見通す単元系統図をもとに、カリキュラムが一貫したものになるよう配慮し、相互乗り入れ授業等を実施している。小1から中3までの学びが途切れず、小中学校相互理解が深まることで教育の質が向上している。

意見・考察

小中学校連携・中1ギャップの解消という点に関しては検討していくべき課題であるが、統計等の論拠を踏まえて論議・検討していく必要がある。

4月25日

青森県青森市

学校の統廃合

目的・理由

学校の統廃合に関しての先進的事例があるため

視察項目概要

児童生徒数の地域差、校舎の維持管理費の増大・老朽化といった問題の中、「ふれあい 思いあい 学びあう教育環境づくり」「安心・安全な教育環境づくり」を目標に計画を策定した。

意見・考察

統廃合にあたっては、学校関係者、地域住民の当該校に対する思いを汲み取り話し合いを行い、学校（地域）により実情が違ふことから、情報収集をしっかりと行うことが肝要である。

